

優先交渉権者を選定するための評価基準

1. 基本的な考え方

優先交渉権者の選定にあたっては、提案内容を公平かつ客観的に評価し、本町の特性や課題を踏まえた最適な業者を選定するため、「CMS 機能要件による評価」、「データセンター要件による評価」、「見積価格による評価」、「企画提案書及びプレゼンテーション審査の評価」の合計点が最も高い提案者を優先交渉権者順位 1 位の候補者とする。

なお、本業務においては、CMS の基本機能に加え、本町が抱える以下の課題への対応力を評価の対象とする。

2. 審査基準

(1) 一次審査（書類審査）（250 点満点）

一次審査は、CMS 機能要件一覧、データセンター要件一覧について確認し、全項目を満たしていることを確認する。なお、対応不可がある場合は失格とする。さらに、見積価格の評価点を合わせ、算出点を 250 点満点に換算する。評価点の上位 3 社程度を一次審査通過者とする。

一次審査評価点（250 点満点）

= (CMS 機能要件評価点 + データセンター要件評価点) ÷ 1,000 × 200 点 + 見積価格の評価点

①CMS 機能要件一覧

提出された CMS 要件一覧表の回答に基づき、要件評価点（898 点満点）を与える。なお、重要度が「必須」の項目について、一つでも対応不可の場合（記入欄が「×」）は失格とする。

一次審査では CMS 機能の保有状況进行评估し、二次審査では本町業務への適合性・操作性・運用提案进行评估する。

回答	基準	重要度	
		必須	希望
◎	標準機能として現時点で対応可能で追加費用不要	3点	5点
○	公開までに利用可能で追加費用不要	2点	3点
△	有償オプション/カスタマイズで対応できる	1点	1点
□	代替案で対応する	1点	1点

×	対応不可	失格	0点
---	------	----	----

②データセンター要件一覧

提出されたデータセンター要件一覧表の回答に基づき、要件評価点（102 点満点）を与える。なお、一つでも対応不可の場合（記入欄が「×」）は失格とする。

回答	基準	評価点
○	すでに対応しているまたは対応可能である	3点
△	代替案・有償カスタマイズで公開までに対応可能	1点
×	対応不可	失格

③見積価格による評価（50 点満点）

評価項目	判断基準	評価点
(1) 双葉町公式ホームページリニューアル業務費用 一式 参考見積額	参考見積額について次の式により評価する。 ただし、小数点以下は切捨てとする。 評価点 = $(1 - A \div B) \times 30$ A: 当該提案者の参考見積額 B: 契約上限額	30 点
(2) 令和 9 年 4 月 1 日から令和 14 年 3 月 31 日までの 60 か月分の保守運用費用 一式 参考見積額	参考見積額について次の式により評価する。 ただし、小数点以下は切捨てとする。 評価点 = $(A \div B) \times 20$ A: 参加した全提案者の参考見積額のうち最低価格 B: 当該提案者の参考見積額	20 点

(2) 二次審査（企画提案書及びプレゼンテーション審査）

一次審査を通過した者を対象にプレゼンテーション、デモンストレーションおよび質疑応答を実施し、以下の評価項目及び配点並びに評価区分と評価比率に基づき評価点を算出する。

① 企画提案書・プレゼンテーション内容の評価項目と配点（1人500点満点）

	評価項目	評価内容	評価点
1	会社情報・実績	経営状況は安定しており、本業務の委託に十分な実績を有しているか。	10点
2	本業務に対する理解・取組方針	本町の復興状況、避難継続者、帰還町民、移住希望者等の課題を理解し、解決につながる提案となっているか。	20点
		実施体制や工程管理において、設計、構築、移行、研修、公開まで確実に実施できる体制・工程となっているか。	10点
3	デザイン・サイト構成	避難継続者、帰還町民、移住希望者等、それぞれの利用者属性を踏まえた情報分類、導線設計となっており、必要な情報へ容易に到達できる構成となっているか。	40点
		利用者が必要な情報に到達できるまでに原則3クリック、最大5クリック程度で到達でき、検索機能等により情報取得が容易になっているか。	20点
		スマートフォン等での利用を前提とした画面設計、操作性、情報配置となっているか。	20点
		双葉町の歴史や復興、地域資源等が伝わり、町内外への魅力発信につながるデザインとなっているか。	40点
4	アクセシビリティへの対応	障がいの有無や老若男女を問わず誰もが公式ホームページを利用できるようアクセシビリティに対する考え方や職員が継続的にアクセシビリティを維持できる方法が提案されているか。また、記事を作成する職員へのサポート体制は十分であるか。	50点
5	提供CMSの機能	職員誰もが簡単にページ作成・更新が可能で、かつ統一感のあるページの構築・運用が可能な提案となっているか。	60点
		システムの拡張性は高く、今後の改修に対応できるようなシステムであるか。	20点
6	外部システムとの連携	防災行政無線、ふたばアプリ、各種SNSとの連携が具体的かどうか。	30点

7	リニューアル支援	既存公式ホームページの記事・画像データ等の移行において品質確保を含めて適切に行えるような方法がとられているか。また、職員の移行作業の負担が減るような支援体制となっているか。	30点
		リニューアル後の公式ホームページ運用を開始する前に、職員のシステムへの習熟およびアクセシビリティの確保に重点を置いた編集担当職員向けの操作研修を実施できるか。	20点
8	システムの性能	サービスを提供するデータセンターは安定的な稼働によりシステムが運用され、情報漏洩等が無いようセキュリティが確保される等の提案がなされているか。	20点
9	運用・保守方法	システムの障害発生時の対応が迅速に行える人員体制となっているか。	10点
		災害発生時にも緊急情報を即時に掲載、閲覧することが可能な提案になっているか。	10点
		リニューアル後の公式ホームページの運用について、職員からの操作方法に関する問い合わせ等に迅速かつ適切に対応できるサポート体制が整備されているか。	20点
		運用内で定期的な訪問を含め、リニューアル後の公式ホームページのさらなる改善に取り組むための体制が整備されているか。	30点
10	その他	提案事業者ならではの方法やコンテンツなどによって、現行の公式ホームページにはない、本町にとって情報発信力向上や利用者利便性向上につながる独自提案があったか。	40点

② 評価区分と評価比率

評価区分	内容	評価比率
A	具体的な提案があり、かつ内容が特に優れている	100%
B	具体的な提案があり、かつ内容が優れている	80%
C	具体的な提案があるが、標準的な内容である	60%
D	具体的な提案があるが、特に優れた内容ではない	40%
E	具体的な提案や優れた提案はない	0%

3. 総評価点

総評価点＝1次審査の評価点(250点満点)＋2次審査の全審査委員の評価点(5人×500点満点)の合計

4. 優先交渉権者の選定方法

(1) 優先交渉権者の決定方法

優先交渉権者は総評価点の満点の6割以上の中から最も高い者とする。最高評価点の者が複数いる場合は、最も安価な参考見積額を提出したものを選定する。

(2) 優先交渉権者の繰り上げ

優先交渉権者に契約を締結することができない何らかの事由が発生したときは、次順位の候補者になった者と当該業務についての交渉を行うことができるものとする。